

WING NEWS



**HONDA FLYING CLUB
HONDA FLYING SCHOOL**

149

**1998
APR.**

第2回冬季クラブ飛行競技会報告



優勝 益田さん



3位 阿波さん

昨年より“冬でも飛ぼう”と始まった、冬季クラブ飛行競技会が、今年も2月14日から2月22日の間におこなわれました。秋の競技大会に比べると、まだまだ参加者は少ないのですが、その分上位入賞が十分に狙えるので、参加者の熱意は相当なものでした。

競技日は各自で選べるという方式は、いそがしい皆様には好評のようです。当日の天候により競技が延びた方も何名かいらっしゃいましたが、参加申込者23名、実参加者19名と徐々に競技会がクラブ員の皆様へ定着してきたようでした。また来年も是非ご参加下さい。

入賞者		賞品
優勝	No.1800 益田 正人さん	電子ピアノ
準優勝	No.1806 清水 一徳さん	電子レンジ
3位	No.5606 阿波 考一さん	CDコンボ





第2回冬季クラブ飛行競技会に参加して

会員No.1806 清水 一徳

クラブ員となり10年目、FLIGHT TIME も人並み(?)に近づき、今年こそ3位入賞と思いながら、毎年決勝戦で風に見放されてしまい、自己ベスト4位のまま10年が経とうとしている。

そろそろ風のせいに出来ない年頃になって来たので、近藤部長に「今日は横風でむずかしい、明日は良くなる」と言われたが、無謀にも「今日やります」と言ってしまうと後悔……。



2位 清水さん

さあ、エルロンを目一杯入れて Take off Down wind で機体を安定させ、気合を入れようと Voice を出した所ダイビングが入り15分間ホールド、気を取り直してアプローチ開始、SHORT FINAL で採点員の近藤部長の姿を in sight。近藤さんの額の汗が目には浮かび、ダッシュさせてはいけないと思いながら landing。そうしたのが高得点につながったのではないのでしょうか。

準優勝カップと賞状と電子レンジを持って足どりも軽く自宅へもどった。昨年の景品はたしかマグカップ1コ、私はうれしかったが景品の大きさに反比例して妻の小言が多かった様に記憶している。

懇親会でも和やかな雰囲気があり、クラブ理事、本田航空クラブ担当の方々の心遣いに感謝したいと思います。ありがとうございました。





●日本の春です。"桜フライト"に行きましょう！

毎年恒例となりました桜フライトを、今年も3月28日(土)～4月12日(日)の間、行います。

対象となるFLTは1時間以上で、10%OFFとなります。ただし、PICの平日料金との重複、通常の訓練(TGL、A/Wなど)、夜間飛行は除かせていただきます。訓練のオアシスとして、ご家族、お友達とお気軽に御利用下さい。

●クラブ総会・安全講習会のお知らせ

5月24日(日)	14:00～15:30	安全講習会	部外講師	} レインボーモータースクール 講堂
	15:30～16:00	"	部内講師	
	16:00～16:40	クラブ総会		
	17:00～18:30	懇親会	(食堂)	

今回も安全講習会には航空団体の講師をお招きして、貴重で興味深いお話を聞かせていただく予定です。また、ホンダフライングクラブへのご理解と、クラブ員の皆様相互の親睦を深めていただくためにも、安全講習会とクラブ総会また懇親会にぜひ御出席下さい。

講師：加藤寛一郎 工学博士

プロフィール：1935年、東京に生まれる。工学博士。

1960年、東京大学工学部航空学科を卒業し、川崎重工業に入社。

その後、アメリカ・ボーイング社を経て、1971年に東京大学工学部航空学科助教授となり、1979年に同学科教授となる。

著書には『航空機力学入門』『ヘリコプタ入門』『最適制御入門』『工学的最適制御』『飛行のはなし』『壊れた尾翼』『宙航レース1999』『生還への飛行』『未来への飛行』『スペースプレーン』などがあります。



テーマ(仮)：操縦に極意はあるか

比べて遊ぼう！「オイルと血液」

飛行機の勉強をしていると、「人間の血液と同じ様に、飛行機のオイルは大事な物なんだぞ」なんてことを聞いたことはありませんか。そこでオイルと血液を比べてみましょう。

まずそれぞれの量ですが、C172はご存じ8 qtで、人間は体重の約1/12~1/13が血液です。つまりオイルは約7.6ℓ、体重90kgの人の血液とだいたい同じ量になります。C172のオイルが一巡するには約2分かかり、人の血液は数秒で一周します。

オイルの重要な役割は、冷却、錆止め、気密性の保持（すきまを埋める）、応力の分散（油膜を作って摩擦を減らす）、などがあげられます。血液の役割は、酸素と炭酸ガスの交換、栄養と老廃物の交換、循環による体温の平均化、傷口の修復、白血球による防衛機能などです。オイル、血液ともに適度な粘性と温度を保つことは重要なのです。

では各機関ごとに比べてみましょう。まずオイルポンプ、これに相当するのは心臓でしょう。人の血液は一般的には140/90mm hgですが、油圧は115/20 psi = 約5947/1034mm hgと、大変高血圧(?) ですね。

C172の空冷式のオイルクーラーへは油温が76°Cを越えると、バイパスバルブが閉じてオイルが流れて適正範囲(100°F - 245°F)を保ちます。人の体温は肝や筋、脂肪にて熱生産量を調整し、発汗や皮膚血管の拡張により熱放散をします。こうして血液温はほぼ37°Cに保たれ、かつ血液の循環により体温は平均化されます。

オイルフィルターに相当する人体の機関は肝臓、肺、腎臓等で、血液が老廃物を運んで処理、排出します。C172のオイルフィルターはペーパータイプで50時間で交換しますが人間はそうはいきませんね、確かに最近は生体間移植や臓器提供など「交換」も医学の発達により可能になってきてはいますが、できるだけ生まれ持った物を大切にしたいものです。

あなたの血圧は正常ですか。C172にはオイルリリーフバルブがあり、115 psi (血圧の単位では約5947mm hg)を越えるとバルブが開き過剰分がドレインされて、適正な油圧が保たれます。人間の血圧の調整は、通常生体の色々な調節系の働きにより一定範囲内に保持されています。急性の血圧調整は主に自律神経系が受け持ち、心臓の活動性と全身血管の緊張度をバランスさせることにより行われます。「血圧が高くて」とお困りの方にもリリーフバルブがあるといいのですけれど……。

最後にC172にはオイルサンプがあり、エンジンが止まっている時及び余分なオイルはここに溜っていて、始動と共に全体へオイルが回って行きます。人間は生きていくかぎりエンジンが回り続けている訳ですから、血液が滞っては大変なことになります。大部分は毛細血管と静脈の中にあります。常に全身を流れ、生産と消費(老化)の連続でオイルサンプのような機関はありません。



濱尾副会長の“手作りのゼロ戦”見学記

会員No.5660 多田 君子



1998年1月24日（土曜日）

制作に費やした時間8年（約3000時間）
大作の飛行機“ゼロ戦”の見学会の当日、
好天に恵まれ、総勢35名の若者（気持はみ
んな若いはず）が旅行気分バスに乗る。

バスの席にもゆとりがあり贅沢な気分
で快適なスタート

到着するとすぐにそれはありました。う
す若草色に化粧塗りされ、まだ線だけの日の丸が……。各自、この飛行機に群がった状態
で、しばし夢中の時間が過ぎたのはいうまでもなく、皆一様に楽しそうな表情で見学して
いる。

まだ製作の途中で、何の計器もないコックピット内、翼は「全部木製で後縁はエポキシ
樹脂をしみこませたガラス繊維を貼る」手法で、まだ木枠だけのところもあり、翼の表面
が丸みを帯びた流線形になっていく過程がわかります。エンジンも用意され、それはまだ、
そのままの形で飛行機の横に置いてある。実物の80%のスケールであるこの零戦は、大戦
初期における世界最優秀の戦闘機という感じより親しみがあり、かっこいい飛行機である。
個人の手作業でこれだけのものを作ってしまうなんて、すごい！ すごい！ すごい！
実際、製作者濱尾さんの夢は“この飛行機で日本一周すること”であり、航空法の基準

ハマオ式080型（0戦21型の80%スケール）

諸元

- ・全長 7.6 m
- ・幅 9.6 m
- ・高さ 2.8 m
- ・最大重量 800kg
- ・巡航速度 150 KTs
- ・最高速度 170 KTs
- ・耐空類別 A型
- ・エンジン ライカミング IO360
- ・プロペラ 可変定速 3葉
- ・構造 全木製羽布張
- （一部コンポジット）
- ・乗員 2名（複座）
- ・航族距離 600 NM
- ・上昇限度 15000 FT



をパスして、飛行できるものを作ろうと言うのだから、どれだけ綿密な基本方針と技術と大変な作業であるかが分ると思います。それは航空ファン3月号“日本で零戦を作る男”として紹介されているので、詳しいことはお任せすることになります。

住まいの隣にある広いスペースの格納庫（そう呼びたくなる!!）の中にはゼロ戦だけではなく、他にもしおからとんぼの胴体の骨組みだけのや、以前作られた自作飛行機、エンジン、翼、なんでもありました。つねに夢と若さを保って

いられる宝物なのでしょう。

それから作業場で“航空機のリベットはこのようなにして打つ”

ペアになってドリルでリベットを打っていく、実演もありました。

自作機の耐空証明、耐空性審査要領、航空機及び装備品の安全性を確保するための技術上の基準等、資料をそろえてわかり易い講義もありました。

今までも、そしてこれからも自作機が日本で飛ぶことが大変なことがわかる内容です。実際飛ばせるまでにはご苦労が多いと思いますが、不断の研究と努力でこの難しいハードルを越えて、夢をかなえてほしいです。

この飛行機は分解可能で滑走路まで運べるそうなので、エンジンが付き、計器も揃い、大空へ向けて飛びたつ時を楽しみにしています。





「期待はずれのイタリア・フライト」

会員No.5005 楠谷 義和

クラブ：Aero Club di Napoli

空 港：ナポリ空港

飛行コース：1997年5月7日午前 ナポリーポンテカーグナーノA/Pーボジターノーア
マルフィーカプリ島ーポッツオリーイスキア島

午後 ナポリーソレントーサレルノーパルテナーリアTGLー
パエストム(神殿の遺跡)

5月8日 ナポリーウルベ(ローマ)ーナポリ

いったい誰なんだ、「ナポリを見て死ね」なんて言ったのは？

「イタリア」？ 地中海の真ん中で、石を蹴飛ばしている長靴？

国の形がユニークであれば、そこに住む人達はもっと頭がやわらかい。フライトクラブへ行くため、駅前からタクシーに乗った。走り出すとたちまちガソリンスタンドに立ち寄り、「ガソリンを入れてくれ」と言う。メーターをみると「E」に近い。「まだ、30kmは走れるヨ」とつぶねた。次は高速道の入口で「高速代を払ってくれ」と言う。空港までわずか5～6kmのはずなのに。これもガンと拒否する。空港に着くと「帰りの料金も払ってくれ」と言う、さすがに根負けして半分支払うハメに。「料金メータがちゃんと付いているのでボラないよ」なんて言っていたのに。領収書にはしっかりと帰りの分も含まれていた。

イタリアへ来て最初に驚かされたことは、ミラノからナポリへの飛行機、ふっと前を見ると操縦席の窓が見える。パイロットも見える。ドアが開いていたのだ。カメラを持って覗きにゆく、高度7,500 ftからの降下中。



ボジターノの街並み

イタリアは国全体が観光地である。山が多く、平野部は少ない。第二次世界大戦の時は日本との同盟国。古代では地中海を中心として、ガリア(フランス)、エジプトまでも征服したローマ。カエサル(シーザー)の国。先進国の中の先進国ではなかったのだろうか。今年の夏には横浜でポンペイ展、池袋

では出雲展が催されていたが、この二つはほぼ同時代のものである。あのポンペイ展を観ると彼らがいかに近代的な生活をしていたかに驚かされる。私の今の生活よりも遙かに豊かだったのではと。しかし、今のイタリアは2,000年前から進歩が滞っているのではないだろうか。どうしてか？ イタリア人は観光で食べていけるからだ。洋服、靴、鞆などの



イスキア島の港

ファッション、スーパーカー、あまりにも有名なヴァイオリン。日本の若者が大金を持ってミラノへ押し寄せ、ショッピング、あるいは金銭を盗られて帰ってくるから？

誰にでも声をかけるイタリアの若者の顔をよ〜く観ると、ローマ時代の石像彫刻や絵画をみているようだ。顔はふっくらと彫りが深く、目はグリッと大きい。髪の毛は柔らかくウェーブ。

機体はセスナと良く似たP 6 6 C。インストラクターのブルーノと出発。テイクオフするとすぐにライトターン。「わおーっ、なんてスバラシイんだ!!」眼下にはオレンジ色の屋根がピッシリと並ぶナポリの街。前方にナポリ湾、左手に“あのポンペイ”を造りだしたヴェスビオ火山、その先の半島はソレント、ナポリ駅の左手には高層ビル地区がみえる、日本の建築家、丹下さんの設計になるとか。

海岸線に出て、左へターン。1,000 ftで海岸線に沿って飛ぶ。ポンペイの遺跡を回り込んで、上昇、ヴェスビオ火山の頂上をめざす。山の高さは1,277 m、ぽっかりと火口が見え、登山者がみえる。富士山に似たスマートな山だ。

ソレント半島の先端へ向かう。あの「帰れソレント」の街から半島を横切って、半島の南側へ。道路は50~100 mの崖の上を走り、険しい山は青い海にまっすぐ落ち込んでいる。海岸線には小さなステキな街がある。ポジターノ、アマルフィー、急な斜面に家が雑段のように集まってへば



カプリ島、左上はソレント半島

りついている。ピンク、あずき、白、黄色、あざやかな色、オシャレな家。

何でこんな所に住んでいるのだろうか。車は入らないし、毎日階段を登り降りしなければならないではないか。

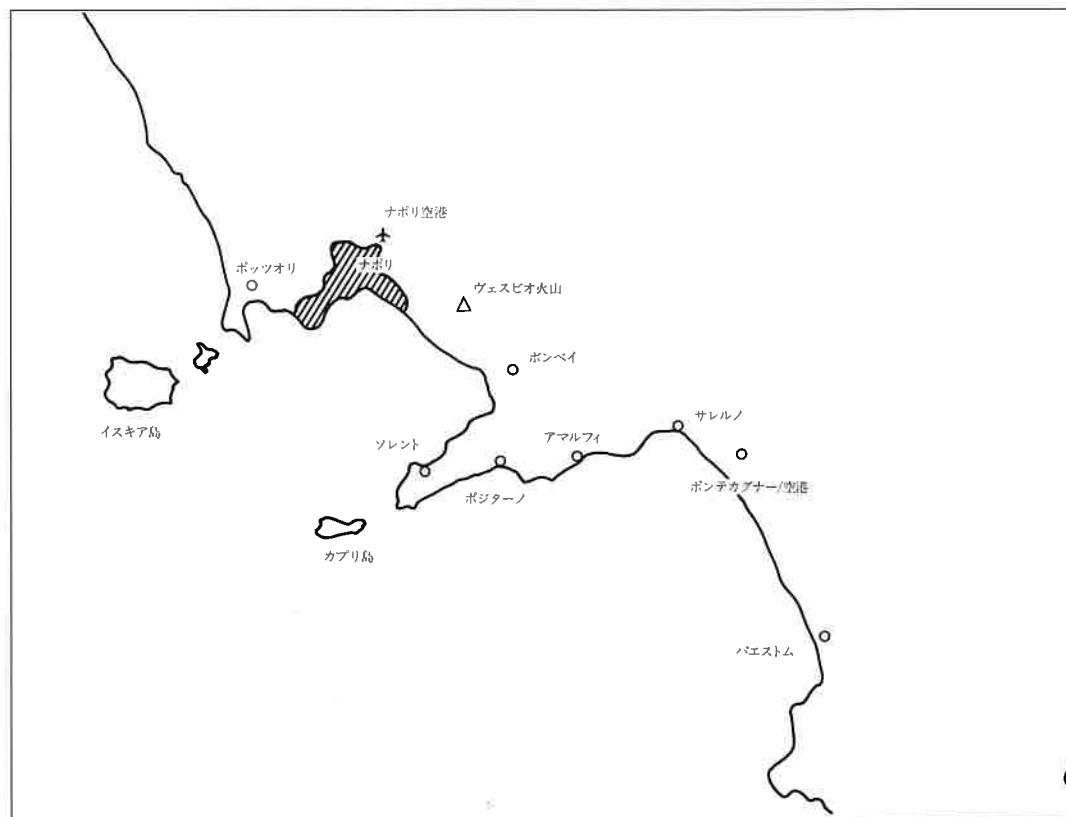
しかし、観る者にとってはこんなすばらしい所はない。海に突き出たテラス、海岸にある教会、「天国の回廊」。

サレルノで引き返してカプリ島へ向かう。カプリ島は2km×4km、高さ589mの小さな岩の島。島の人はいくつか土があるとオリーブやレモンの樹を植える。島全体が観光地である。

クレオパトラの2番目の男、アンソニの宿敵アウグストスの別荘があった島だ。白い岩肌と海の青さは観る者をロマンチックにさせる。

豪華客船が小さな港の外に停泊している。地中海クルーズの途中か。船腹の降ろされたタラップに小さなボートが近づく。

ナポリの北、ポッツオリオという地域には低い小さな火口がいくつか並んでいる。火口内は緑の湿地帯だったり、USAの軍事施設だったり、100年程前に噴火したという新しい火口では、まだ灰色の泥がぶくぶくと泡を吹き、イオウの臭いがプンと飛行機にまで届く。



イスキア島はカプリ島よりもやや大きく、山もそれほど険しくはない。砂浜もいくつか見える。島から少し離れておわんをふせたような島、全体が城になっている。

ナポリ空港への着陸はすごかった、まるでスポットランディング。着陸してからも全速力で滑走路エンドへ、これほど走るとコントロールも難しい。

ランチがまた大変。私は通行パスを持っていないので、空港内を歩けない。空港ビルも目の前にあるのだが入ることができない。メカニックのサルバトーレが私のために自転車でランチを買いに行ってくれた。

格納庫の前にテーブルを出してランチを食べる。なんて気分がいいんだ。ランウェイではグッピーが滑走を始めた。機能的かも知れないが見栄えは決してよくない。軍の輸送機が目の前にやってきて駐機。練習用戦闘機がこちらに尻を向けてエンジンをスタートさせ、オレンジ色の炎を吹き出した。

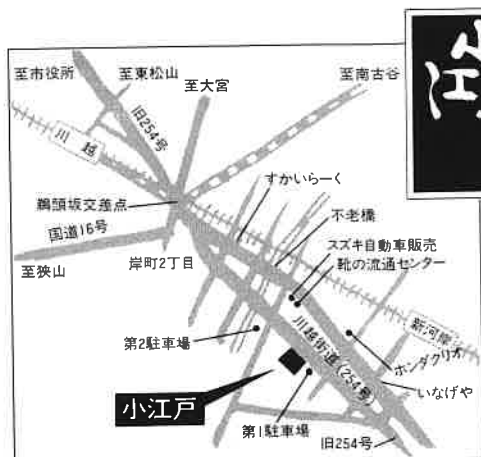
翌日のフライトはひどかった。ナポリを出た時は曇だったが、たちまち雨の中へ。1,000 ft でやっと雲の下へ。強い雨が音を立てて、窓ガラスを洗う。雷光まで走り出して、もう引き返したい気分。「ここを抜ければ向こうは晴れているから」とインストラクタは言う。海岸線をキープしてローマへ向かう。ローマまでは約200km。結局、ローマ・ウルベ空港まではずっと雨の中だった。彼もまたイタリア人か！

ローマは雨が弱く、遠くにローマ市街、中心付近に白い大きな建物ヴィットリオ・エマヌエーレ2世記念堂が見える。

この日のインストラクタはジャッカルノ、クラブの所長の孫である。彼は私のために、わざわざローマから飛んで来たのだった。ジャッカルノの父もまたアリタリア航空のパイロット、彼もまた来月からはアリタリアのパイロットとして飛ぶんだそうだ。

彼のホームベースはここローマ・ウルベ空港で、インストラクタを務めている。空港の小さなレストランで食事をとって少し待ったが、天候はいっこうに良くなる気配はなかった。それでも、ローマから少し南へゆくと、天気が少し良くなって、時折、太陽も。しかし、ナポリはまだ強い雨の中、風も26ノット、ほんとに疲れました。

ホンダエアポート周辺のおいしいお店シリーズ No.24



とうふ処

小江戸

今回はとっておきの川越の豆腐料理のお店を御紹介します。このお店、おとうふ屋さんが開いたおとうふ料理のお店です。出来たて新鮮なおとうふが味わえることを保証します。多彩なメニューの中で人気なのは、昼は、豆腐ハンバーグ定食(800円)。夜は、コース料理の、豆腐と白身魚のテリーヌなどです。料理の他にも、珍しい豆乳、バニラアイスや豆乳パイ、それに、今だけ限定80本の川島町産いちごワイン(知ってました!?)を置いています。関越や国道245号を利用する方はぜひお立寄り下さい。ちょっと奥まったかくれ家みたいなお店です。

埼玉県川越市砂新田1-3-8
TEL.0492-45-1241

営業時間

AM11:30~PM 2:00
PM 5:00~PM 9:30
定休日・月曜日

城下町川越は、江戸と直結した新河岸川の河港として、豊富な物質の供給地としても重要な役割を果たし、「小江戸」と呼ばれるほどに繁栄をきわめました。そして、今なお落ち着いた蔵作りの家並みを残し、細い丁字路やし字路に城下町の面影を偲ぶことができます。

こうした川越の歴史に育まれてきた小江戸とうふは、自然のめぐみをつぶりと受けて育った良質の大豆と深井戸の水を使い、伝統の技術を受け継いだ職人の手で丹念につくり上げられた本物の味。ほのかに香る大豆のあまい香りは、江戸時代の粋な食文化を今に伝えます。

とうふ料理の店「小江戸」は、このとうふをベースに、腕に自慢の板前が心をこめてつくった、とうふ料理の数々をお楽しみいただけるお店です。

④ 小江戸会席 四、〇〇〇円	
豆腐コース料理	
食前酒	川島いちごワイン
先付	胡麻豆腐
二品	味噌漬豆腐
お造り	三種盛り
	妻一式
煮物	鯉けんちん豆腐
小鉢	生湯葉
焼物	カニと豆腐のグラタン
蒸し物	豆腐と白身魚のテリーヌ
油物	白魚と海老の東寺揚げ
食事デザート	飯蒸し 豆乳アイス

新入会員紹介

フライングスクール

- No.5 6 8 0 柴田 英明 H10.2.7
No.5 6 8 1 内村 時則 H10.2.13
No.5 6 8 2 小野寺則行 H10.2.21

フライングクラブ

- No.1 9 5 3 板橋良直 H10.2.4
No.1 9 5 4 橋本 武 H10.2.14

(敬称略)

USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています（敬称略）

5 月中に切れる方

6 月中に切れる方

市川 浩和 H10.5.7

石田 匡昭 H10.6.6

早川 憲治 H10.6.28

馬上 成利 H10.5.1

小笠原克之 H10.6.16

正木 英俊 H10.6.19

堀内 元就 H10.5.6

鈴木 晴信 H10.6.16

山本昭三郎 H10.6.30

高橋 和久 H10.6.12

●申請に必要なもの

住 民 票（本籍地記載のもの、発行3ヵ月以内）…………… 1通

練習許可申請書（身体検査を受診する病院でお受取り下さい）…………… 1通

②申請書の住所及び本籍は、住民票にある通り、丁目、番地等を略さず書いて下さい。氏名の後部に朱肉印捺印、また、欄外に捨印を押して下さい。シャチハタ印、又はこれに類似した印は不可。

③身体検査は有効期限の1ヵ月前以降に受けて下さい。申請書の有効期限は1ヵ月です。手続きに時間がかかる場合がありますので受診したらすぐに、遅くとも有効期限の10日前までに、申請をお願いします。

写真（インスタントは不可）たて3cm×よこ2.5cm…………… 2枚

④写真の裏側にかならず記名して下さい。

申請諸費用…………… 3,200円

●身体検査の受診場所（事前連絡が必要です。）

宮入内科（有楽町交通会館）…………… 03-3211-4845

中溝クリニック（港区芝浦東芝ビル4F）…………… 03-3452-4468

国際空港診療所（羽田空港全日空到着ロビー近く）…………… 03-5757-1122

聖母クリニック（立川市羽衣町1-7-10）…………… 0425-22-5234

東海大学医学部付属東京病院（渋谷区代々木1-2-5）…………… 03-3370-2321

【個人で操縦練習許可書をお取りになった方へのお願い】

個人で操縦練習許可書の申請を行っておられるスクールの方は、管制区内での操縦練習の許可申請で個人の練習許可番号及び有効期限が必要となりますので、是非お早めに本田航空、運航部まで御連絡下さい。TEL 0492-99-1105（運航部直通）

クラブ員の皆様へ

- ・日曜日にトレーラーハウス（タワーの下）でお弁当屋さんがOPENしています。天気の良い日はFLTがてら、飛行場でお昼をのんびりすごすのはいかがですか。
- ・ナイトトレーニングはPIC及び同乗教育とともに火木土のみとさせていただきます。御協力をお願いします。
- ・本田航空ではホンダフライングスクール入会希望者及びホンダ車購入希望者を御紹介いただいたクラブ員・スクール生の方に無料飛行券を進呈しております。

スクール入会の紹介……………1時間飛行券

ホンダ車購入希望者の紹介（御成約のみ）

……………20分間飛行券

- ・今年は例年に比べ寒い時期に雪が多く降り、ゆっくりとしか融けない雪が、しばらくタクシーウェイをふさいでいました。社員はエプロン・滑走路・ハンガー前の雪かきや飛行機からの雪おろしで大忙し。ゴム長靴が大活躍。それでも降雪直後の関東平野は空からは白く静かに輝いて見えました。

ウィングニュース 149号

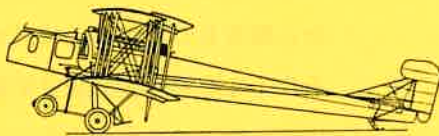
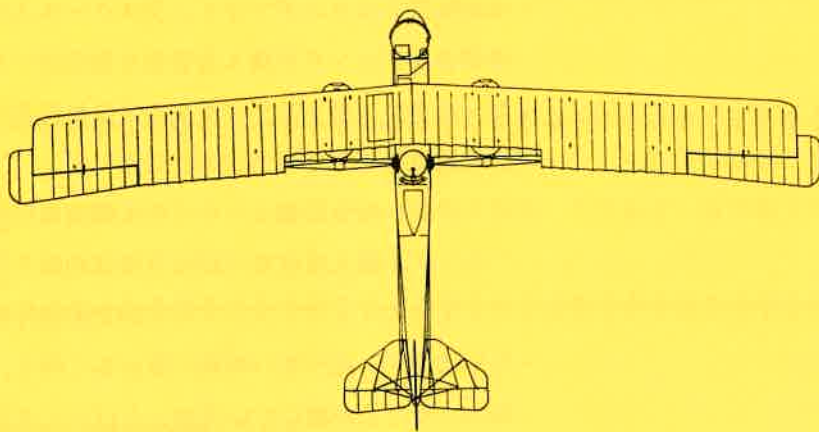
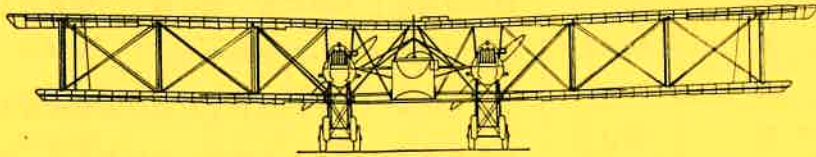
発行者／埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

ホンダフライングクラブ事務局

Tel 0492-99-1105(代) 〒350-0141

表紙イラスト／板橋 繁男



ゴータ G IV

1916年 ドイツ

エンジン：メルツェデス D IV a 250hp × 2.
全幅：29.7m. (上翼), 21.9m (下翼). 全長：12.2m. 翼面積：84.78㎡.
自重：2,555kg. 総重量：3,790kg. 最大速度：135km/h.
航続時間：3時間45分～6時間. 乗員：3名. 武装：機銃2～3丁.
(データは1916年のジーマンスシュッケルト社製G IV初期型)

